



社会教育 アドバイザー通信

第1号 平成26年7月28日
発行 秋田県教育委員会
編集 秋田県生涯学習センター

アドバイザー通信第1号をお届けします。

これから8号まで、4人の社会教育アドバイザーが、社会教育・家庭教育等について、考えたこと、感じたことなどをお伝えします。

はじめは、秋田県生涯学習センターの担当です。各地で行われた事業や研修会の様子をお知らせします。

平成26年度 第1回秋田県家庭教育担当者等研究協議会

私たち、家庭教育を支える「行動人」

～子どもたちを地域ぐるみで支える人づくり・仕組みづくり～

(平成26年5月27日)

家庭教育支援に携わる県及び市町村の担当職員等が参加し、家庭教育支援の現状と今後取り組むべき課題について、研究協議及び情報交換を行いました。

午前 of 施策説明に続き、午後からは、講師の高橋寛光氏による「イクメンで地域を元気づけよう！家庭教育の『行動人』」と題した講話と絵本ライブが披露されました。ギター演奏を交えた絵本ライブでは、子どもたちに人気の北欧民話「三びきのやぎのがらがらどん」の世界に参加者も童心に返り、浸ることができました。得意なことを生かし、自らも楽しみながら活動する高橋氏の実践は、父親の子育て参画や地域活動参画の在り方として参考となる事例でした。

講師 高橋寛光氏

NPO法人「ファザーリング・ジャパン」会員

大仙市企画部男女共同参画・交流推進課 主任

平成25年度「全日本育麺メニューコンテスト」全国一

平成26年度秋田県「男女共同参画社会づくり表彰チャレンジ賞」受賞



講師の高橋寛光氏



高橋氏による絵本ライブ

お知らせ

次の研究協議会は、11月19日（水）を予定しています。
県民対象の「秋田県家庭教育フォーラム」も同日開催です。
ぜひ、ご参加ください。

平成26年度 生涯学習・社会教育関係者基礎講座

学びから行動へ、行動から協働へ！ 基礎から始める生涯学習・社会教育

(平成26年6月12日)

基礎講座の趣旨は、「地域の教育力向上」をテーマに、生涯学習・社会教育関係者に求められる基礎的知識・技術に関して学び、関係者の資質・力量を高め、あわせて、社会教育による地域協働の仕組みづくりのための効果的なネットワーク形成の促進を図るものです。

午前の講義、職能別研修に続き、午後からは、「学びの成果を行動に、そして協働へ～これからの生涯学習とその支援に求められること～」というテーマのもとに、講師に秋田大学教育文化学部准教授の原義彦氏をお迎えして、講義・演習が行われました。

演習では、地域課題の解決に向けた学びや取組について考えました。

はじめは、「取組の意味が広すぎる」「これも生涯学習か」というような戸惑いの声もありましたが、意見交換を通して、生涯学習が担う「協働」への場づくりや橋渡しの機能について認識し、考えを深める機会となりました。



講師の原義彦准教授

能登祐子さん（能代市）を訪ねて
内閣府男女共同参画局
「女性のチャレンジ賞」受賞から1年

行動人

昨年6月、能登祐子さんは、内閣府男女共同参画局が地域活動等にチャレンジすることによって輝いている女性を顕彰する「女性のチャレンジ賞」（全国で5名）を受賞されました。

能代市内自治会において、初の女性自治会長（上町自治会）として、これまで10年にわたり、地域活動に積極的に携わってこられました。女性の視点で困りごと解決に向けた活動をされております。

中でも、「上町すみれ会」女性部を創設したことが、女性の交流を深め、実践活動の中核となり、その後の様々な取組を通して、町内を超えた「まちづくり」に関わることができたとお話しされました。

能登さんは、「女性のチャレンジ賞」を受賞して以来、講演を依頼されることも多く、講演先で、その地域の特色ある活動を目の当たりにすると、刺激を受け、一層活動に力が入るとのことでした。



朝市の野菜を運ぶ
能登祐子さん



上町すみれ会の皆さんの
コンテナガーデンづくり。
手前のリヤカーは自主防
災でも活用

また、「のしろ白神ネットワーク」代表としても活動されており、「まち」の身近な問題と大学・行政・企業とも連携しながら、自分たちのできることから取り組み、各団体と手をつなぎ、地域づくり・まちづくりを進めておられます。

ネットワーク事務局の秋田県立大学木材高度加工研究所の渡辺千明准教授は、「地域防災」をも見据えて、より幅広く、より専門的な見地から学術機関として加わり、地域課題に取り組んでおられます。

6月22日、「常盤ときめき隊日曜朝市」に参加させていただきました。

朝市の開始前に集まった皆さんで、「秋田音頭」に合わせた「ときめき朝市体操」が行われました。

秋田県立大学総合科学教育研究センターの内山応信准教授考案のバランス感覚や転倒防止につながる体づくりに役立つ簡単な体操です。日ごろの体づくりが災害時にも役立つようにと、考案されました。

能代市健康づくり課による「健康チャレンジポイント事業」の説明も行われ、市民の「健康づくり」意識を盛り上げておりました。



「健康チャレンジポイント」の説明。今日から、楽しく始めよう



あっという間に売り切れた日曜朝市



「秋田音頭」に合わせて、「ときめき朝市体操」

渡辺准教授の「普段の生活の中で楽しいことを企画し、地域のつながりやにぎわいを大事にして防災に取り組むたい」と話された言葉が強く心に残りました。

おめでとうございます

今年度は、NPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会理事長の藤井けい子さん（仙北市）が、内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ賞特別部門賞」を受賞されました。